



下建産第1066号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長様

下市町長 東 奈良



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平素は、下市町の道路行政にご理解・ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
平成20年9月19日づけ国道企第37号で依頼のあった標記の件について、
別紙のとおり送付します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

奈良県下市町

下市町の幹線道路網は、町内を南北に通過する国道309号をはじめ、五條吉野線・下市宗檜線・洞川下市線など県道6路線によって形成され、周辺市町村さらには広域へと連絡する骨格的な役割を担っている。又、町道並びに農道林道が補完機能を担っているところであります。

このようななか、国道309号は下市町の街中を貫通致しており、大和平野や大阪方面と吉野山間部を結ぶ南北交通の大動脈となっているが、狭隘な箇所や急カーブの箇所が多く、また観光シーズン等には千石橋付近をはじめ、各所で交通渋滞が生じ機能が低下しているのももちろん住民の生活にも大きな影響を与えています。

鉄道の無い下市町にあっては、車が住民の足であり道路の必要性は大きなところであり、前述の状況を改善するには道路拡幅による改良や迂回路としてのバイパス道路の設置がぜひとも必要であり、普及を推進していく必要があると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

奈良県下市町

○現状

当町における国道309号は、下市町を南北に通過する主要幹線であります。現在丹生地区を中心に改良を推進して頂いていますが、まだ狭隘な地域が存在し、通行量が増える夏休み・観光シーズン等にあっては、ガードマンによる交互通行を余儀なくされている状況です。

尚、国道309号は主要生活道路であるのに、狭隘であり危険がいっぱいです。迂回道路も無く困っている所である。

このような中、家事・救急等の有事の際には、緊急活動が行えない状況です。

○課題

左記の現状を解決すべく、国・県におかれましては、ご尽力を頂いているところですが、国道309号は狭隘な街中道路であり下水道工事・上水道工事等による道の掘削も出来ないで困っている所であります。迂回道も無く通行止めも出来ない生活道路です。

今後におきましても、尚一層の改良を図って頂き、一日も早い完成により地域住民の生活に安全・安心を提供していきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

奈良県下市町

道路網の整備については、下市町総合計画でも最重要課題として位置付け、緊急度・費用対効果等を十分検討行い町道整備を図っていくところです。今後においても道路・橋梁は住民の生活水準の向上と適切な土地利用を推進し、快適な定住環境をつくる上で欠かせないのであり、限られた財源を効率よく配分し推進して行かなければならぬと考えます。

街内には、迂回する道路が無く、大型自動車の対向すら出来ない状況であり、先に述べた通り通行止めにしての諸工事・行事すら出来ない状態ですので、特に309号の街中のバイパス道が必要であると考えています。(別添管内図のとおりです。) ご協力下さい。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	その他
・住民の生活水準の向上と地域産業の活性化と土地有効利用の推進	<p>①国道309号広橋地区の道路改良の完成により下市町丹生地区や天川村・黒滝村の時間短縮ができ、奈良市・橿原市への生活圏の拡充が計られる。</p> <p>②吉野川に架かる千石橋及び梁瀬橋からの迂回(バイパス)道路の完成こそが下市町にとっては重要であります。</p> <p>③町内の特に狭隘力所の拡幅。 (下阪の信号の所)</p>	<p>①住民生活にゆとりと余裕が生まれると共に安心して生活を送ることが出来る。 特に医療機関(病院)への対応。 災害時の対応。</p> <p>②歩道のある通学道の確保、安心して歩ける道作りが必要である。</p>	

下市町全圖

下阪交差点

- 迂回路(バイパス)
- 渋滞(市街地)区間
- 通常道路

